

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [語り部スキル](#) | [教師の心得12ヶ条](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

教師の心得12ヶ条

モンテッソーリ教育とは、イタリア初の女性医師として知られるマリア・モンテッソーリ（1870～1952）によって考案された教育法。

イタリアのローマで医師として精神病院で働いていたモンテッソーリは、知的障害児へ感覚教育法を施し知的水準を上げるという効果を確認した後、1907年に設立した貧困層の健全児を対象とした保育施設「子どもの家」において、その教育法を完成させた。

モンテッソーリ教育は、日本では「幼児教育」として有名だが、「幼児教育」だけではなく、人間として完成する24歳頃までの発達段階を4段階に区切って開発されている。

その教えのなかに、教師が子どもに接するときの心得12ヶ条と呼ばれるものがある。大人にもその学びの転用が可能であり、研修講師が参加者と関わりを持つときに参考になる。

モンテッソーリ 教師の心得12ヶ条

- 1、環境に心を配りなさい
- 2、教具や物の取扱い方を明確に正確に示しなさい
- 3、子どもが環境との交流を持ち始めるまでは積極的に、交流がはじまったら消極的になりなさい
- 4、探し物をしている子どもや、助けの必要な子どもの努力を見逃さないよう、子どもを観察しなさい
- 5、呼ばれたところへは、駆け寄り、交歓しなさい
- 6、招かれたら、耳を傾け、よく聞いてあげなさい
- 7、子どもの仕事を尊重しなさい。質問したり、中断しないように
- 8、子どもの間違いを直接的に訂正しないように
- 9、休息している子どもや他人の仕事を見ている子どもを尊重しなさい。仕事を無理強いしないように
- 10、仕事を拒否する子ども、理解しない子ども、間違っている子どもはたゆまず仕事への誘いかけを続けなさい
- 11、教師を探し求める子どもには、そばにいることを感じさせ、感じている子どもには隠れるようにしなさい
- 12、仕事がすんで、快く力を出きった子どもを静かに認めながら現れなさい

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE 【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.